

7
7
6

卷之五之目表

第五章	健康ヲ害スル罪	一章
第一節	阿片烟ニ關スル罪	同葉
第二節	飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪	四葉
第三節	傳染病豫防規則ニ關スル罪	六葉
第四節	危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪	八葉
第五節	健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪	十一葉
第六節	私ニ醫業ヲ為スル罪	十二葉
第六章	風俗ヲ害スル罪	十三葉
第七章	死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪	十八葉
第八章	商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪	二十葉
第九章	官吏瀆職ノ罪	廿四葉
第一節	官吏公益ヲ害スル罪	同葉
第二節	官吏人民ニ對スル罪	廿六葉
第三節	官吏財産ニ對スル罪	三十葉

刑法義解

太田聿郎註解

五

東京圖書館

和書門

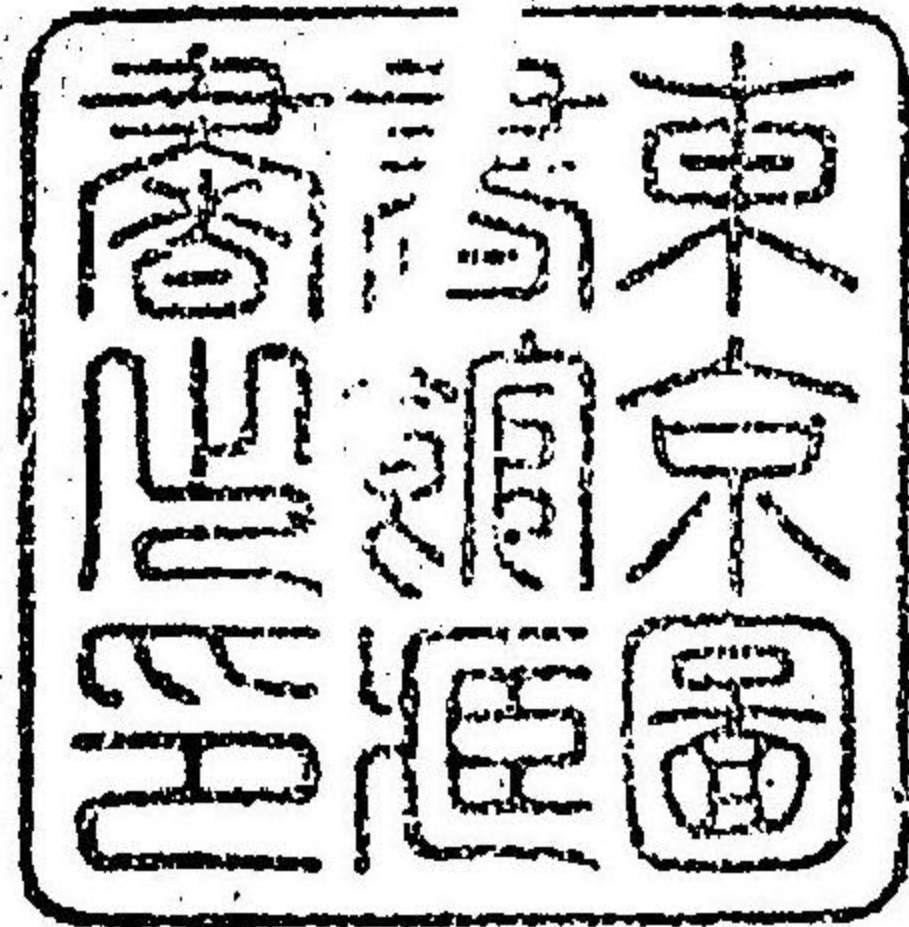
類

一函

二架

六號

七冊



刑法義解卷之五

第五章 健康ヲ害スル罪

〔註〕此章ハ一般ノ健康ニ關シ害ト為ルヘキ罪ヲ定

ム故ニ之ヲ公益ヲ害スルノ一部ニ列ス

第一節 阿片^{アヘン}烟ニ關スル罪

〔註〕此節ハ阿片^{アヘン}烟及ヒ其器具ヲ輸入製造若クハ

販賣シ又ハ阿片^{アヘン}烟ヲ吸食スルノ罪ヲ定ム蓋

森 權 六

校正

山住才三

太田 聿郎

註解

シ阿片烟ハ健康ヲ傷シ人身ヲ害スル最モ甚
シ其流毒極メテ大ナリ故ニ此章ノ首節ニ掲

第二百三十七條

阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ
有期徒刑ニ處ス

註本條ハ外國ニ於テ製造シタル阿片烟ヲ内國ニ輸入
シ及ヒ内國ニ於テ之ヲ製造シ又ハ輸入若クハ製造
シタル阿片烟ヲ販賣シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者
ハ私利ヲ圖リ國禁ヲ犯シ一般ノ健康ヲ害スルヲ顧

ミス其情最モ惡ムヘシ故ニ之ヲ嚴刑ニ處シ其禍害
ノ根源ヲ絶チ流毒ヲ豫防スル者ナリ

第二百三十八條

阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之
ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

註本條ハ外國ニ於テ製造シタル阿片烟ヲ吸食スルノ
器具ヲ輸入シ及ヒ内國ニ於テ之ヲ製造シ又ハ輸入
若クハ製造シタル器具ヲ販賣シタル者ニシテ此等
ノ者モ其情素ヨリ惡ムヘキ者ナレト前條ニ比スレ
ハ其害自カラ小ナリ故ニ二等ヲ減シテ輕懲役ニ處

ス

第二百三十九條

税關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

〔註〕本條ハ税關官吏阿片烟及ヒ其器具タルヲ知テ之レヲ輸入セシメタル者ノ罪ヲ云フ此等ノ者ハ輸出ノ犯禁ヲ濫^{シラ}査スルノ職務ニシテ其信任ニ背キ之レヲ輸入セシメタル者ノ如キハ其情常人ヨリ重シ故二前二條ニ記載シタル阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入シタル者ノ刑ニ照シ各一等ヲ加ヘテ之ヲ處分ス

第二百四十條

阿片烟ヲ吸食スル為メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

〔註〕本條ハ房屋ヲ給與シ他人ヲシテ阿片烟ヲ吸食セシメ利益ヲ得タル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ私利ヲ圖リ禍害ヲ媒介^{マカ}スル者ナレハ之ヲ罰シ其流毒ヲ豫防セサル可カラス故ニ之ヲ輕懲役ニ處ス
又タ他人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者ハ其害タル房屋ヲ給與シタル者ト相等^トシ故ニ其利ヲ

圖ルト否トヲ問ハス同シク之ヲ輕懲後ニ處ス

第二百四十一條

阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以上ノ重禁錮ニ處ス

註本條ハ自カラ阿片烟ヲ吸食シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者モ假令ヒ直接ニ他ノ害ヲ為サスト雖氏之ヲ罰セサル時ハ遂ニ其害ヲ他ニ蔓延セシムルノ恐れアリ且ツ國禁ヲ犯ス者ナレハ其罪ヲ問ハサルヲ得ス然レ氏前數條ノ罪ニ比スレハ其情大ニ輕シ故ニ其刑モ亦々輕シ

第二百四十二條

阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

註本條ハ阿片烟及ヒ其器具ヲ竊カニ所有シ又ハ他人ヨリ寄托ヲ受ケタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ縱令ヒ之ヲ販賣吸食セサルモ既ニ之レヲ所有シ又ハ受寄シタル時ハ之ヲ吸食スルノ嫌疑アルノミナラス又々其害ヲ他ニ及スノ恐れアリ且ツ制禁ノ物件ニシテ人民ニ於テ之ヲ私有スヘカラサル者ナレハ其罪ヲ不問ニ措クヲ得ス然レ氏其情最モ輕キヲ以

テ其刑モ亦タ最モ輕シ

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

〔註〕此節ハ飲料ノ淨水ヲ不潔ニ致シ又ハ有毒品

ヲ用ヒテ其水質ヲ變シ若クハ腐敗セシメ衆

人ノ健康ヲ害スヘキ罪ヲ云フ

第二百四十三條

人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フル能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重

禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔註〕本條ハ衆人ノ飲料ニ供スル淨水即チ東京ノ神田玉

川ノ淨水其他井水等ニ不潔物ヲ投擲シテ之ヲ汚穢シ飲用スル能ハサラシムルニ至ラシメタル者ノ罪ヲ云フ蓋シ飲料ノ用水ハ日常必需ノ者ニシテ且ツ最モ人身ノ健康ニ關スル者ナリ然ルニ之ヲ汚穢シタル時ハ未タ健康ヲ害スルニ至ラスト雖モ其罪ヲ問ハサルヲ得ス然レモ其情輕シ故ニ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條

人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐

敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ
三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔註〕本條ハ人身ノ健康ヲ害スヘキ有毒質ノ物品ヲ用ヒ
テ飲料ニ供スル淨水ニ投入シ其水質ヲ變シ又ハ賣
敗セシメタル者ノ罪ニシテ此等ノ所爲ハ大ニ衆人
ノ健康ヲ害スルノ恐レアルヲ以テ其罪狀更ニ重シ
故ニ其刑モ亦大ニ嚴ナリ

第二百四十五條

前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ
殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ前條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲシテ其
水ノ為メ疾病ニ致シ若クハ死ニ致シタル者ノ罪ニ
シテ此場合ニ於テハ其罪最モ重シ故ニ第二百九十
九條以下殴打創傷ノ罪ノ各本條ニ照シ一ノ重キニ
從テ處斷スヘキ者トス

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

〔註〕此節ハ諸種ノ傳染病ヲ豫防スル為メ設ケル
所ノ規則ニ違背スル者ノ罪ヲ定ム蓋シ傳染
病ハ一タヒ其豫防ノ術ヲ失スレハ忽チ蔓延
シ遂ニ名狀ス可カラサル慘域ニ陥ル故ニ健

康ヲ害スル罪アリトシテ之ヲ罰ス

第二百四十六條

傳染病豫防ノ為メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ傳染病流行ノ地方ヨリ來ル船舶ノ入港スル時又タ傳染病ニ罹ル患者ヲ乗載シタル船舶入港セシ時豫防規則ニ從ヒ之レヲ檢査シ乗客ノ上陸物品ノ運搬ヲ禁止シタルニ其規則ニ違背シテ入港ノ船舶

船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其情狀ニ因リ裁判官ノ意見ヲ以テ一月以上一年以下ノ輕禁錮ヲ以テ之ヲ罰シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得

第二百四十七條

船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スルヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

註本條ハ船長自ラ前條ニ記載シタル傳染病豫防規則ニ違背シテ上陸若クハ運搬ヲ為シ又ハ他ノ乗客等

ノ上陸若クハ運搬ヲ為ス_ト知テ之ヲ制止セサル
時ノ罪ニシテ船長タル者ハ船内ノ事ヲ管理監督ス
ルノ任アル者ナリ然ルニ自カラ其罪ヲ犯シ又ハ人
ノ犯スヲ知テ制セサルカ如キハ其罪状大二重シ故
ニ前條ノ刑ニ一等ヲ加ヘ之ヲ嚴罰ス

第二百四十八條

傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他
處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ
又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ傳染病流行ノ際ニ當リ豫防規則ニ從ヒ他ニ

護_送セシメサル為メ該地方ヨリ他所ニ出ツル_トヲ
禁シタルニ其規則ニ違背シテ他所ニ出タル者ノ罪
ニシテ此等ノ者ハ第二百四十六條ノ罪ヨリ其情輕
シ故ニ同條ノ刑ニ二等ヲ減スルノ權衡ニ同シ
又々前二條及ヒ本條ニ掲クル外傳染病豫防規則ニ
違背シタル罪ハ第四百二十六條第四項ニ照シテ處
分ス

第二百四十九條

獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他
處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處

シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ牛馬等獸類ノ傳染病流行ノ際ニ方^アリ他ノ地方ニ蔓延セシメサル為メ豫防規則ニ從ヒ該地方ヨリ獸類ヲ他處ニ出ス^トヲ禁シタルニ獸類ノ所有者若クハ看守者其規則ニ違背シテ之ヲ他所ニ出シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ前條ニ比スレハ其罪狀自カラ輕シ故ニ其刑モ亦夕輕シ

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪

〔註〕此節ハ危害ヲ生ス可キ物品若クハ健康ヲ害

スヘキ物品ノ製造ニ關シ設ケタル規則ニ違背シテ公衆ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ健康ヲ害シタル罪ヲ定ム

第二百五十條

官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ危害ヲ生スヘキ破裂質ノ物品例ヘハ火藥雷管或ハ石炭油等ヲ製造スルニハ必ラス官許ヲ得テ

其製造所ヲ創設セサル可カラス然ルニ官許ヲ得ス
 シテ之ヲ創設シタル者ノ罪ヲ定ム此等ノ者ハ公衆
 ニ對シ危害ヲ加フルノ恐レアリ故ニ二十圓以上二
 百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ危害品ヲ運搬貯藏販賣
 スル等ノ罪ハ第四百二十五條ニ照シテ處分ス
 又タ人ノ健康ヲ害スヘキ惡臭及ヒ有毒ノ物品例ヘ
 ハ煤氣製藥製葦等ヲ製造スルニハ必ラス官許ヲ得
 テ製造所ヲ創設セサル可カラス然ルニ官許ヲ得ス
 シテ之ヲ創設シタル者ハ公衆ノ健康ヲ害スヘキ恐
 レアリ然レ氏危害品ニ比スレハ其害稍ク輕キヲ以

テ前項ノ刑ニ二等ヲ減スルノ權衡ト同シキ罰金ニ
 處ス但シ健康ヲ保護スル為メ設ケタル規則ニ背キ
 タル罪ハ第四百二十六條第四項ニ照シテ之レヲ處
 分ス

第二百五十一條

官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖氏
 危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ
 前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

註本條ハ官許ヲ得テ危害ヲ生スヘキ物品若クハ健康
 ヲ害スヘキ物品ノ製造所ヲ創設スト雖氏特ニ其製

造ニ付キ定メタル危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スルノ規則ニ違背シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其情前條ヨリ輕シ故ニ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減シテ處分ス

第二百五十二條

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ官許ヲ得スシテ危害ヲ生スヘキ物品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シ又ハ官許ヲ得テ此等ノ製造所ヲ創設スト雖モ其豫防若クハ保護

ノ規則ヲ遵守セズ因テ人ヲシテ疾病ニ罹ラシメ若クハ死傷ニ致シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ故意ヲ以テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ニ非サレハ其情大ニ輕シ故ニ第三百十七條以下ノ過失殺傷ノ罪ノ各本條ニ照シ一ノ重キニ從テ其罪ヲ處斷ス

第五節 健康ヲ害スヘキ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

〔註〕此節ハ人ノ健康ヲ害スヘキ有毒質ノ物品ヲ用テ飲食物ニ混和シテ販賣シ及ヒ人ノ健康ヲ害ス可キ毒藥、劇藥ヲ規則ニ違背シテ販賣

シタル罪ヲ定ム

第二百五十三條

人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ人ノ健康ヲ害ス可キ有毒質ノ物品例ヘハ鑛屬製ノ繪具染料ヲ用ヒテ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ人ノ健康ヲ害スルノ恐レアリト雖モ故意ヲ以テ人ヲ害セント為シタル者ニ非サレハ其情輕シ故ニ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條

規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ賣藥及ヒ藥種商等規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ノ罪ニシテ前條ニ比スレハ其害稍大ニシテ且ツ職業上ニ關スルヲ以テ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處スヘキ者トス

第二百五十五條

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ前二條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病
 又ハ死ニ致スト雖モ第二百五十二條ノ主義ト同シ
 ヲ故意ニ出タル者ニ非サレハ過失殺傷ノ各本條ニ
 照シ一ノ重キニ從テ其罪ヲ處斷スルヲ云フ

第六節 私ニ醫業ヲ為ス罪

〔註〕此節ハ官ノ免許ヲ得スシテ私ニ醫業ヲ為シ
 病患者ヲ治療シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者
 ハ衛生上ノ害アリ故ニ健康ヲ害スル罪ノ一
 部ニ掲ク

第二百五十六條

官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シタル者ハ十圓以上百圓以
 下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ官ノ試験ヲ受ケス免許ヲ得スシテ私ニ醫業
 ヲ為シ病患者ヲ治療シタル者ノ罪ヲ云フ蓋シ醫師
 ハ司命ノ職ニシテ最モ重要ナル業トス故ニ官許ヲ
 得スシテ醫業ヲ行フ者ハ健康ヲ害スル罪アリトシ
 テ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處スヘキ者トス

第二百五十七條

前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタ
 ル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シ其治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ノ處分法ニシテ是等ノ者ハ故意ヲ以テ殺傷シタル者ニ非サレハ過失殺傷ヲ以テ其罪ヲ論シ第三百十七條以下ノ各本條ニ照シ一ノ重キニ從テ處斷ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

〔註〕此章ハ猥褻賭博及ヒ神佛ニ對シ不敬ヲナシタル等社會ノ風俗ヲ紊シ公益ヲ害スル罪ヲ云フ

第二百五十八條

公然猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ三圓以上三十圓以下

ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ他人ニ對スルト獨自ニ為シタルトヲ問ハス

公然衆人ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ猥褻ノ所行ヲ為シ風俗ヲ害スル罪ヲ云フ例ヘハ路傍ニ於テ淫事ヲ為スノ類是レナリ此等ノ所為ハ其害タル一般ニ關スルヲ以テ告訴ヲ待タスシテ其罪ヲ論スヘキ者トス而シテ此條公然ノ字最モ注意ヲ要ス但シ第三百四十六條第三百四十七條ニ記載シタル猥褻ノ罪ハ公然ニ非ラサルモ之レヲ罰スルハ格別ナリトス

第二百五十九條

風俗ヲ害スル冊子圖畫其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ
又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處
ス

註本條ハ淫事ヲ記載シタル書冊及ヒ春畫其他陰陽ノ
具ニ摸形シタル物品ヲ公然衆人ノ目ニ觸ルヘキ所
ニ陳列シ又ハ販賣シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ
私利ヲ圖リ一般ノ風俗ヲ害ス其罪前條ヨリ重シ故
ニ其刑モ亦々重シ但シ此條ニ於テモ前條ト同シク
公然ニアラサル者ハ其罪ヲ問ハサル者トス

第二百六十條

賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ
三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下
ノ罰金ヲ附加ス

註前二條ハ猥褻ノ罪ニ係ル本條以下ハ賭博ノ罪ヲ云
フ賭博トハ財物ヲ賭シテ輸贏ヲ瞬息ノ間ニ博スル
ヲ云フ夫レ賭博ノ風俗ヲ害スルハ並人ノ熟知スル
所ニシテ其弊ヤ往々家産ヲ蕩盡シテ貧困ニ陥リ或
ハ花利ヲ撓滓シテ遊惰ニ流レ人々正業ヲ為サ、ル
ニ至ル故ニ賭場ヲ開張シテ其席料等ヲ受ケ利益ヲ
得タル者又ハ賭博ヲ為ス無賴ノ徒ヲ招集結合シタ

ル者ハ其張本タルヲ以テ現行犯タルト非現行犯タルトヲ問ハス三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條

財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス

賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ没収ス

註本條ハ賭場ヲ開キ財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為シタ

ル者及ヒ博奕ヲ為スヲ知テ房屋ヲ貸與シタルモ其利ヲ圖ラサル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ前條ノ罪ニ比スレハ其情稍輕シ故ニ其刑モ亦々輕シ蓋シ博奕ヲ為シタル者現行犯ニ限リ其罪ヲ問フ所以ハ誣指濫及ノ弊ヲ防ク為ナリ房屋ヲ給與シタル者ニ至テハ此等ノ恐レナシ故ニ現行犯ト非現行犯トヲ問ハス其罪ヲ論ス然レ氏利ヲ圖ラサル者ナレハ賭博者ト同一ノ刑ニ處ス但シ飲食物ヲ賭スル者ハ前ニ陳フル所ノ如キ弊害アル者ニ非ラス故ニ本條ニ依テ其罪ヲ問フノ限ニアラス第二項ハ博戲ニ用フル

骰子骨牌等ノ器具及ヒ財物ノ其賭場ニ現在スル者ハ悉ク官没スルヲ云フ故ニ博徒ノ懷中セシ財物ハ其博奕ニ因リ得タルト否トヲ問ハス之ヲ没収スルノ限ニ非ラス

又夕路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル罪ハ第四百二十八條第四項ニ照シテ處分ス

第二百六十二條

財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註

本條ハ富籤ヲ興行シタル者ノ罪ニシテ富籤トハ衆人ヲ聚合シテ財物ヲ醜集シ（醜集シ）攪ヲ拈（拈）テ花利ヲ偶然ニ圖ルヲ云フ此等ノ所為ハ賭博ト自カラ其方法異ナリト雖モ其弊害ニ至テハ一ナリ故ニ財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利害ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ風俗ヲ害スルノ罪アリトシテ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十三條

神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所為アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ神佛ニ對シ公然不敬ヲ為シ又ハ其尊信ヲ妨害シタル者ノ罪ニシテ神祠佛堂墓所其他神佛ヲ禮拜スル所ニ對シ公然衆人ノ目前ニ於テ神體佛像ヲ毀壞損傷シ又ハ不潔物ヲ以テ之ヲ汚穢スル等不敬ノ所爲アル者ヲ云フ蓋シ神佛ハ各人ノ尊信敬重スヘキ者ナリ然ルニ之ヲ輕慢侮辱シテ不敬ヲ為ス時ハ一般ノ風俗ヲ害スル一甚シトセス故ニ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス若シ教導職其信徒ヲ集メ

テ説教ヲ為シ又ハ衆人神佛ヲ祭リ禮拜ヲ為ス時ニ當リ言詞形容或ハ暴行ヲ以テ之ヲ妨害シタル者ハ其害タル稍大ナルヲ以テ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル罪ハ第四百二十六條第十項ニ照シ神祠佛堂ヲ汚損シタル者ハ同條第十一項ニ照シテ處分スヘキ者トス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

〔註〕此章ハ死屍ヲ殘毀遺棄シ又ハ墳墓ヲ發掘穿掘シテ死者ニ對シ暴行ヲ為シタル者ノ罪ヲ定ム

第二百六十四條

埋葬不可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ怨恨ヲ報復シ若クハ之レヲ戮辱スル為メ其死屍ヲ殘毀シ又ハ埋葬ノ勞費ヲ厭ヒ其死屍ヲ山野若クハ水中ニ遺棄シタル者ノ罪ヲ云フ此等ノ者ハ其所業最モ殘忍暴虐ニシテ其情惡ムヘシ故ニ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル罪ハ第四百二十五條第七項自己ノ所有地内ニ

死屍アルヲ知り官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者ハ同條第八項ニ照シテ處分スヘキ者トス

第二百六十五條

墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ財物ヲ盜取スル為メ又ハ舊怨ヲ報復シ若クハ之ヲ戮辱スル為ニスルトヲ問ハス墳墓ヲ發開穿

掘シテ已ニ埋葬シタル棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其罪前條ヨリ更ニ重シ故ニ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ其死屍ヲ殘毀遺棄シタル者ハ其情惡ムヘシ故ニ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

註本條ハ主意明了ナレハ説明ヲ要セス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

〔註〕此章ハ自己ノ利益ヲ得シカ為メ偽計又ハ威力其他ノ方略ヲ以テ他ノ商業農業及ヒ工業上ノ自由ヲ妨害シタル者ノ罪ヲ定ム

第二百六十七條

偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺クヘカラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者

ハ一等ヲ減ス

註本條ハ詐偽ノ計略又ハ暴行脅迫等威力ヲ借リテ穀類其他衆人ノ日常需用ニ缺ク可カラサル食用物即チ味噌醬油塩茶等ノ賣買ノ自由ヲ妨害シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ賣買ノ自由ヲ妨害スルノミナラス其害ヲ公衆ニ及ホスヲ以テ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品トハ衆人需用ニ缺クヘカラサル食用物ノ外薪炭燈油衣服類其他諸種ノ雜物ヲ云フ此等ノ物品ハ日常需用ニ缺ク可カラサル者ナキニ非スト雖氏食用物ニ非ラサルヲ以テ其害ヲ公衆ニ及ホスノ少ナケレハ其賣買ヲ妨害シタル者ハ前項ノ刑ヨリ一等ヲ減ス

第二百六十八條

偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ工圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ詐偽ノ計畧又ハ暴行脅迫等威力ヲ借リテ糶賣又ハ入札ヲ為スノ自由ヲ妨害シタル者ノ罪ニシ

テ糶賣トハ尋常ノ賣買ト異ニシテ其目的タル賣拂
品ノ價格ヲ最高ニ達セシムルヲ云フ入札ト同上ノ
方法ニシテ物品賣拂ノ入札ヲ為サシメ其高價ニ落
札セシムル者ナリト雖凡時トシテ請負等ニテ入札
ヲ為サシメ最モ低價ヲ定メシムルトアリトス此等
ノ事ヲ害シテ他ノ商業ノ自由ヲ妨ケ自己ノ利益ヲ
圖ラントスル者ハ其公衆ニ害ヲ與フル少ナキヲ以
テ其罪前條ヨリ輕シ故ニ二十五日以上三月以下ノ重
禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十九條

偽計又ハ威カヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ亦前
條ニ同シ

註本條ハ詐偽ノ計畧又ハ暴行脅迫等威カヲ借リテ他
人ノ農業又ハ二業ノ自由ヲ妨ケ自己ノ利益ヲ圖リ
タル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ前條ノ罪ト別一輕重
ナケレハ同一ノ刑ニ處スヘキ者トス

第二百七十條

農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變
セシムル為メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威カヲ以
テ妨害ヲ為シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮一

處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ農業若クハ工業ノ雇人其雇賃ノ金額ヲ増加セシムルカ為メ又ハ其景況ヲ變更セシムルカ為メ雇主若クハ他ノ雇人ニ對シ詐偽ノ計略又ハ暴行脅迫等威カヲ以テ妨害ヲ為シタル者ノ罪ニシテ例ハ開墾耕作若クハ礦坑製造工作等ニ雇ハル、者等其給料ヲ増加セシメ又ハ作業ノ時間ヲ減縮セシムル等ヲ目的トシテ之ヲ請求スル為メ相互ニ協議一致シ偽計又ハ威カヲ以テ農工ノ業ヲ停止セシメ又ハ他ノ雇人ヲ使用スル、若クハ使用セラル、ヲ

停止シタルノ類ヲ云フ此等ノ者ハ其情狀前二條ノ罪ヨリ重シ故ニ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十一條

雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル為メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威カヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ亦前條ニ同シ

註本條ハ農業若クハ工業ノ雇主其雇人ノ給料ヲ減少セシムル為メ又ハ其景況ヲ變更セシムル為メ雇人ニ對シ若クハ他ノ雇人ニ對シ詐偽ノ計畧又ハ暴行

脅迫等威力ヲ以テ妨害ヲ為シタル者ノ罪ニシテ例
ヘハ雇人ノ給料ヲ減少セシメ又ハ作業ノ時間ヲ長
クシ若クハ人貢ヲ減少セシムルヲ目的トシテ雇主
タル者等相共ニ協議一致シ偽計又ハ威力ヲ以テ一
時其業ヲ停止シテ雇人ヲ使用セス若クハ他ノ雇人
ヲ使用シ又ハ他ノ雇主ヲシテ其業ヲ停止シテ雇人
ヲ使用セシメス若クハ他ノ雇人ヲ使用スルヲ停
止スルノ類ヲ云フ此等ノ者ハ前條ノ罪ト輕重ナケ
レハ同一ノ刑ニ處ス

第二百七十二條

虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直
ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處
ス

註本條ハ虚妄誹偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人必
需用ナル物品即チ味噌、醬油、塩、茶、燈油等賣買ノ淨

競ヨリ自然ニ定マル可キ價格ヨリ更ニ騰貴セシメ
又下落セシメタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ公衆ノ
困難ヲ顧ミス私利ヲ占得センカ為メ人心ヲ動搖シ
物價ニ非常ノ昂低ヲ生セシム其情狀惡ムヘシ故ニ
十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

シテケガシ

〔註〕此章ハ官吏タル者其職務上ヲ褻瀆シタル罪ニシテ即チ官吏其正當ノ職務ヲ執行セス又ハ職務ヲ以テ人民ノ權利及ヒ自由ヲ妨害シ若クハ賄賂ヲ貪リ財産ヲ松シテ公益ヲ害スル罪ヲ定ム

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

〔註〕此節ハ官吏其正當ナル職務ヲ執行セス又ハ其為ス可カラサル事ヲ為シテ公益ヲ害スル罪ヲ云フ

第二百七十三條

官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
〔註〕本條ハ官吏其職務ニ於テ管掌スル所ノ法律規則ヲ公布施行スヘキニ之ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ職務ヲ以テ法律規則ヲ公布施行スルニ却テ之ヲ妨害シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其職任ニ背キ人民ヲ害スルノ罪アリ然レモ官吏職務上ノ犯罪ニ係ルヲ以テ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條

兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サ
ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以
上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ地方ニ於テ人民騷擾ヲ為シ警察ノ力ヲ以テ
之ヲ鎮撫スルヲ能ハサル時ハ其地方長官ハ兵隊ヲ
鎮臺若クハ營所ニ要求シ及ヒ之ヲ使用シテ其騷擾
ヲ鎮撫スルノ權アリ然ルニ此等ノ時ニ當リ其處分

ヲ為サ、ル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其職任ニ背キ
為メニ人民ニ疾苦ヲ被ラシメ公益ヲ害スルヲ罰ト
セヌ故ニ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓
以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ此條ハ第百七十
七條ニ掲ケタル罪ト相對スレハ宜シク參看スヘシ

第二百七十五條

官吏規則ニ違背シテ商業ヲ為シタル者ハ二十圓以上
五百圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ官吏ニシテ商業ヲ為シタル者ノ罪ヲ云フ凡
ソ官吏タル者ハ自己若クハ其家族ト雖モ商賈ノ業

ヲ營ムコトヲ禁止ス即チ明治八年四月第六十五號ノ
 達ヲ以テ官吏商業禁止ノ規則ヲ定ム此レ蓋シ官吏
 ハ各相當ノ俸給ヲ受ケ其職務ニ從事スル者ナレハ
 固ヨリ商業ヲ營ミ利益ヲ圖ルヘキ者アラス且ツ官
 吏ニシテ商業ニ關スル時ハ專ラ其私利ヲ圖ルニ汲
 々トシテ遂ニ職務ニ怠慢ヲ生シ或ハ竊カニ其威權
 ヲ假リテ商業上ニ恣擅ノ所為ヲ為ス等其弊害少ナ
 カラス故ニ規則ニ違背シテ商業ヲ為シタル者ハ二
 十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪

〔註〕此節ハ官吏タル者職務上ニ於テ人民ノ權利
 及ヒ自由ヲ妨害シ又ハ賄賂ヲ受クル等ノ罪
 ニシテ官吏ノ職務ヲ褻瀆シタル罪ノ一ナリ
 トス

第二百七十六條

官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシ
 ム又ハ其為ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上
 二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金
 ヲ附加ス

〔註〕本條ハ官吏タル者私擅ニ其職務ノ威權ヲ用ヒ人民

ヲシテ其權利ヲキ事即チ為スヘカラサル事ヲ行ハシメ又ハ為ス可キ權利ヲ行ハシメス之ヲ妨害シタル罪ニシテ此等ノ所為ハ其職權ヲ濫用シテ一般ノ秩序ヲ亂ル故ニ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十七條

人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢事警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ為サ、ル者八十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註

本條ハ殺傷、毆打、監禁、強姦、強竊、盜、放火、毀壞、其他人ノ身體又ハ財産ニ對シ行兇人アル時ニ當リ豫審判事檢事警察官吏ニ報告シタルニ此等ノ官吏其報告ヲ受クレハ速ニ犯所ニ到リ逮捕檢證等ヲ為シ被害人ヲ保護スヘキニ之レカ處分ヲ為サ、ル者ノ罪ニシテ是レ其職務ヲ盡サ、ルノ責アリ故ニ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十八條

逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セスシテ人

ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

〔註〕本條ハ犯人ヲ逮捕シ又ハ監禁スルノ程式及ヒ規則ハ治罪法ニ於テ之ヲ定メタリ然ルニ檢事司法警察官、巡查等其程式規則ヲ遵守セシテ擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ人ヲ監禁シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其職權ヲ濫用シ人民ノ自由ヲ害ス其情惡ムヘシ故ニ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ監禁日數十日ヲ過クル

毎ニ一等ヲ加フトハ即チ十日ヲ過クレハ一等ヲ加ハ二十日ヲ過クレハ二等ヲ加フルヲ云フ

第二百七十九條

司獄官吏程式規則ヲ遵守セシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

〔註〕本條ハ囚人ヲ監禁シ又ハ出獄セシムルノ程式及ヒ規則ハ治罪法及ヒ監獄則ニ於テ之ヲ定メタリ然ルニ司獄ノ官吏其程式及ヒ規則ヲ遵守セシテ囚人ヲ監禁シ若クハ出獄セシムヘキ囚人ヲ仍ホ監禁

シ之ヲ放免セサル者ノ罪ニシテ此等ノ者モ其職權ヲ濫用シ人民ノ自由ヲ害スル前條ト異ナルヲナシ故ニ前條ニ記載シタル所ノ例ニ照シ之ヲ處斷スル者トス

第二百八十條

前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ

照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

註本條ハ逮捕官吏司獄官吏又ハ囚人ノ護送者囚人ニ

對シ不正ノ待遇ヲ為シタル者ノ罪ニシテ即チ囚人

ニ給與スル飲食衣服ヲ屏去剋減シ其他毆打拷責等

苛刻ナル非理ノ所爲ヲ施シタルヲ云フ此等ノ官吏

又ハ護送者ハ其囚人ヲ監護檢束スルノ職任ヲ有ス

ト雖此之ヲ遇スルニハ勉メテ愛恤ヲ加フヘシ然ル

ニ不正ノ待遇ヲ為シ囚人ヲシテ疾苦セシムル者ハ

職務上踳横ノ罪アリ故ニ三月以上三年以下ノ重禁

錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ^詩刻ノ所爲ヲ施シ因テ囚人ヲシテ死傷ニ致シタル時ハ其情狀更ニ重シ故ニ第二百九十九條以下毆打創傷ノ各本條ニ照シ凡人ノ刑ニ一等ヲ加ヘ本條ノ罪ト比較シ重キニ從テ其罪ヲ處斷ス

第二百八十一條

水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解ク^トヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加

^ヲ
〔註〕本條ハ洪水出火地震等非常ノ變アル際ニ當リ司獄官吏怠慢ヲ以テ監禁シタル囚人ヲ解放セス因テ死

傷ニ致シタル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ故意ニ出タルニ非スト雖凡其職務ヲ怠リ囚人ヲシテ死傷ニ致サシム其罪輕カラス故ニ毆打創傷ノ各本條ニ照シ凡人ノ刑ニ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百八十二條

裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條

ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ豫審及ヒ公判ノ裁判官、檢事及ヒ警察官吏等被告人ヲ訊問シ其罪狀ヲ陳述セシムルニハ決シテ拷訊ヲ用ヒ殘忍ノ處置ヲ為ス可カラサル者トス然ルニ暴行ヲ加ヘ又ハ陵辱ノ所為ヲ施シ被告人ヲシテ白狀ヲ為サシメタルヲ云フ此等ノ者ハ法律ニ背キ人身ノ自由ヲ害シ職務ヲ冒瀆スルノ罪アリ故ニ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ暴行ヲ加ヘ又ハ陵辱ノ所為ヲ施シ因テ被告人

ヲシテ死傷ニ致シタルハ其情更ニ重シ故ニ凡人毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ本條ノ罪ト比較シ一ノ重キニ從テ處斷ス

第二百八十三條

裁判官、檢察官故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其民事ノ訴ニ條ル者亦同シ

〔註〕本條ハ裁判官又ハ檢察官タル者告訴告發ヲ受ケ事故ナクシテ其訴ヲ受理セス又ハ受理スルモ徒ラニ

遷延シテ審理セサル者ノ罪ニシテ此等ノ者ハ其當
 然行フヘキ職務ヲ行ハス為メニ人民ノ權利ヲ害ス
 ル^不勘シトセス故二十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ
 處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス又々裁判
 官民事ノ訴ヲ受ケ故ナク之ヲ受理セス又ハ之ヲ受
 理スルモ遷延シテ審理セサル者モ其罪狀異ナル所
 ナケレハ同一ノ刑ニ處ス可キ者トス

第二百八十四條

官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタ
 ル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ為シタル時ハ一等ヲ加フ

註本條ハ官吏其職務上ノ事ニ關シ他ヨリ囑託ヲ受ケ
 為メニ賄賂ヲ收受シ又ハ後ニ賄賂ヲ受クル^カヲ聽
 許シタル者ノ罪ニシテ官吏トハ裁判官、檢事、警察官
 ヲ除ク他ノ一般ノ官吏ヲ云フ蓋シ官吏タル者ハ其
 職務ヲ行フニ公正ナルハ當然ノ義務ナリ故二人ノ
 囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ
 未タ不正ノ處分ヲ為サスト雖モ一月以上一年以下
 ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加

ス若シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シ因テ不正ノ處分ヲ為シタル時ノ其情更ニ重シ故ニ一等ヲ加ヘ其罪ヲ處斷ス

第二百八十五條

裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ不正ノ裁判ヲ為シタル時ハ一等ヲ加フ

〔註〕本條ハ裁判官民事ノ裁判ニ關シテ原告又ハ被告ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ後ニ賄賂ヲ受クル

ヲ聽許シタル者ノ罪ヲ定ム夫レ裁判ハ公正ナラサル可カラス然ルニ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ未タ不正ノ裁判ヲ為サスト雖氏自カラ公正ヲ欠クノ恐レアリ且ツ其職務ヲ褻瀆スル最モ甚シ故ニ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シ因テ法ヲ枉ケ不正ノ裁判ヲ為シタル者ハ其職務ヲ褻瀆スルノミナラス其害ヲ社會ニ及スル少ナカラフ其情狀惡ムヘシ故ニ一等ヲ加ヘテ處分ス

第二百八十六條

裁判官、検事、警察官吏、刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條
 第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

註 本條ハ裁判官、検事、警察官吏、刑事ノ裁判ニ關シテ他

ヨリ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ後ニ賄賂ヲ收受スルヲ聽許シタルノ罪ニシテ此等ノ者モ前條ト同シク未タ不正ノ裁判ヲ為サハルキハ其罪輕重ナキヲ以テ同一ノ刑ニ處ス
 若シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シ因テ被告人ヲ曲庇シ其罪ヲ故出シテ重ヲ減シテ輕ト作シ若シクハ其全罪ヲ免シタル者ハ職務ヲ褻瀆シ社會ヲ害ス其情狀更ニ重シ故ニ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

又々賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シ其被告人ヲ陷害
 シテ其罪ヲ故入シ無罪ノ者ヲ有罪トナシ其刑ヲ科
 シ若クハ輕キヲ増シテ重ト作シ處斷シタル者ハ職
 務ヲ褻瀆シ人民ノ權利自由ヲ害スル最モ甚シク其
 情狀極メテ重シ故ニ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ
 處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若其枉
 斷シタル所ノ刑此ヨリ重キ時ハ偽證ノ罪ニ付定メ
 タル第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シ被
 告人ノ現ニ處斷セラレタル所ノ刑ニ及坐ス

第二百八十七條

裁判官檢事警察官吏賄賂ヲ收受聽許セスト雖其情ニ
 徇ガヒ又ハ怨ヲ挾サミ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ
 亦前條ノ例ニ同シ

註本條ハ裁判官檢事警察官吏他ヨリ囑託ヲ受テ賄賂

ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許セスト雖其情ニ徇ガヒ又ハ怨ヲ挾サミ被告人ヲ曲庇又ハ陷害シ
 テ其罪ヲ増減シ法ヲ枉ケタル者ノ罪ニシテ此等ノ
 者ハ其情狀前條ノ者ト異ナルヲナケレハ前條ニ記
 載シタル例ニ從ヒ同一ノ刑ニ處ス

第二百八十八條

前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ没收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ス

〔註〕本條ハ第百八十四條乃至第百八十六條ニ記載シタル賄賂ハ不正ノ財物ニ係ルヲ以テ已ニ收受シタル金圓物件ハ之ヲ官ニ没收シ若シ費用シタル者ハ金圓ナレハ同價ノ金額物件ナレハ其價ニ相當スル金額ヲ追徴スルヲ云フ但シ聽許シタルノミニテハ追徴ノ限ニアラス

第三節 官吏財産ニ對スル罪

〔註〕此節ハ官吏其職務上ニ於テ自ラ監守シ又ハ

徴収スル所ノ財産ヲ私シタル罪ヲ云フ

第百八十九條

官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

〔註〕本條ハ官吏タル者自カラ監臨主守スル所ノ官ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ノ罪ヲ云フ此等ノ者ハ監守スルノ職任ニ在テ之ヲ竊取スルガ如キ其職務ヲ褻瀆スル之ヨリ甚キハナク且ツ信任ニ背キ公益ヲ害

スルモ亦々大ニシテ其情状至テ重ク固ヨリ尋常ノ
窃盗ヲ以テ論スヘキ者ニ非ラス故ニ輕懲役ニ處ス
若シ窃取スル為ノ官ノ文書簿冊ニ記入シタル文字
ヲ増減變換シ又ハ之ヲ毀壞遺棄シタル者ハ第二百
五條ノ例ニ照シテ其罪ヲ論スヘキ者トス

第二百九十條

租税其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數外ノ金穀ヲ
徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五
圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註 本條ハ收稅事務ニ關スル官吏其徵收スヘキ正數ヨ
ルニキタカ

リ過多ノ金穀ヲ徵收シタル者ノ罪ヲ云フ租税ヲ徵
收スル官吏トハ國稅地方稅等ヲ徵收スル者ヲ云フ
其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏トハ租税ニ非ラス
シテ政府ニ收入スヘキ金穀ニシテ例ヘハ沒収罰金
料料手數料官物拂下代金官地拜借料等ヲ徵收スル
者ヲ云フ此等ノ者ハ其不正ニ徵收スル所ノ金穀ハ
之レヲ已レニ入ルト否トヲ問ハス公務ニ因リ擅
ニ科斂スルノ罪アリトシ二月以上四年以下ノ重禁
錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九十一條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

註本條ハ前ニ屢々説明スル所ト同主意ナレハ茲ニ說明ヲ要セズ

刑法義解卷之五 終

1
7
6

